



なりたの植物

オオイヌノフグリやヒメジョオンは、まちなかでも、よく見かける植物だね。

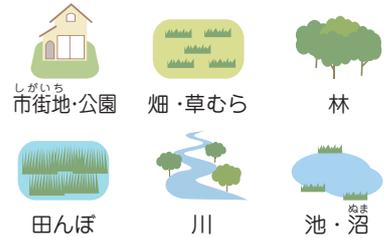


マークの説明 せつめい

花が咲く時期 さ



生えている場所



オオイヌノフグリ

きれいな青色の花をたくさんつけ、道ばたや畑などでよく見られます。外国から入ってきて、今では全国に広がっています。ほとんどの花は、咲いてから一日で落ちてしまいます。

高さ：10～20cm / 色：青色



春



ホトケノザ

道ばたや田畑のあぜなどでよく見られます。春の七草の「ほとけのざ」は「コオニタビラコ」という別の植物で、このホトケノザは食べられません。

高さ：10～30cm / 色：ピンク色



春



ネジバナ

ランの仲間ではめずらしく、まちなかでも見られます。小さなピンク色の花が、茎のまわりをねじったように並んで咲くことからこの名前がつけました。

高さ：10～40cm / 色：ピンク色



春

夏



ヒメジョオン

まちなかで見られる外国からきた植物です。背が高く、花が咲くとよく目立ちます。似ている花にハルジオンがあります。(見分け方のコツは「もっと知ろう！」にあるよ)

高さ：30～130cm / 色：うすいピンク色



春



ミゾソバ

川や道ばたなどの湿った場所に生えます。水路などの溝みぞに生えるのでミゾソバといいます。葉っぱの形が牛の顔にも見えることから「ウシノヒタイ（牛の額）」ともよばれます。
高さ：30～100cm／色：白～ピンク色



ヒルガオ

朝に花がひらきますが、昼になってもしぼまないためこの名前がつきました。つるをのばして、他の植物やフェンスにからみついてのびていきます。
長さ：50～150cm／色：ピンク色



コナラ

ぞうきばやし（雑木林）に多く見られ、秋に実（ドングリ）をつけます。昔はこの木を切って、炭を作っていました。また、シイタケ（きのこ）を栽培する原木としても使われています。
高さ：15～20m／色：黄緑色



オモダカ

田んぼに見られ、夏（さ）に咲く白い花と、矢印（やじるし）のような葉っぱがとくちょうです。おせち料理で食べる「クワイ」は、オモダカの球根を食用（かいりょう）に改良したものです。
高さ：20～60cm／色：白色



もっと知ろう！

●ヒメジョオン、ハルジオンの見分け方

ハルジオンは4～5月に、ヒメジョオンは5～8月に咲きます。茎（くき）をおって中がつまっていたらヒメジョオン、中がからっぽだったらハルジオンです。ヒメジョオンにくらべ、細い花びらがハルジオンです。

ハルジオン ヒメジョオン

